

令和 5 年 度

事 業 報 告

公 益 財 団 法 人

老 年 病 研 究 所

令和5年度事業報告

目 次

I. 研究に関する事業報告	1
1. 脳血管障害（脳卒中）の病理学的研究	1
2. 脳卒中（脳血管障害）の臨床的ならびに臨床病理学的研究	2
3. 群馬県における高齢者の健康対策に関する研究	2
4. 脊椎、脊髄病変の原因と治療に関する研究	2
5. 慢性関節リウマチ治療に関する研究	3
6. 骨粗鬆症の臨床的研究	3
7. 変形性膝関節症に関する臨床的研究	3
8. 老人スポーツに関する臨床的研究	4
9. 認知症に関する臨床的研究	4
10. 神経難病の治療に関する研究	4
11. 研究成果の発表の事業（学会発表等）	4
12. 研究成果の発表の事業（論文等）	17
13. 講演会等の開催	23
14. 病理カンファレンスの開催	33
15. 医師の教育指導研修	33
16. 刊行事業	33
II. 老年病研究所附属病院事業	37
III. 老年病研究所附属高玉診療所事業	41
IV. 介護老人保健施設 群馬老人保健センター 陽光苑事業	42
V. 訪問看護ステーションひまわり事業	43
VI. 前橋市地域包括支援センター西部事業	44
VII. 認知症初期集中支援推進事業	46
VIII. 居宅介護支援事業所事業	47
IX. グループホームひまわり事業	49
X. 認知症疾患医療センター事業	50
XI. 従事役職員	51
事業報告の附属明細書	53

I. 研究に関する事業報告

1. 脳血管障害（脳卒中）の病理学的研究

- 1) 高血圧性脳内出血の病因に関する研究
- 2) 動脈壊死の病因に関する研究
- 3) 脳梗塞の病因に関する研究
- 4) 動脈硬化の発生に関する研究
- 5) くも膜下出血の際の脳血管れん縮に関する研究
- 6) 脳動脈瘤の発生に関する研究
- 7) 病理解剖の実施

No.	執刀者	年月日	年齢・性別	臨床診断
452	福田利夫	R5.11.1	81歳・男性	筋萎縮性側索硬化症・膀胱癌
453	福田利夫	R5.11.16	93歳・男性	脳幹梗塞・鬱血性肺炎・心不全

- 8) 動脈壁の代謝と形態に関する研究
- 9) 動脈病変の電顕的研究
- 10) 脳内動脈病変の電顕的研究
- 11) 脳内小梗塞に関する研究
- 12) 高血圧性動脈病変に関する研究

2. 脳卒中（脳血管障害）の臨床的ならびに臨床病理学的研究

- 1) 脳卒中の診断に関する研究
- 2) 脳卒中の薬物療法に関する調査研究
- 3) 脳血管障害と24時間血圧値の関係に関する研究
- 4) 脳卒中の予防に関する研究
- 5) 動脈硬化の進展と血清リポ蛋白についての研究
- 6) 脳血管障害患者の胃腸病変に関する研究
- 7) 脳動脈狭窄症に対する血管内手術に関する研究
- 8) 脳動脈瘤に対する血管内手術に関する研究

3. 群馬県における高齢者の健康対策に関する研究

- 1) 高齢者の脂質代謝に関する研究
- 2) 群馬県における長寿地区の特性に関する研究
- 3) 生活習慣病と県勢との関連に関する研究
- 4) 群馬県における肥満とヤセの実態に関する研究
- 5) 群馬県における血清総コレステロール異常者の実態に関する研究
- 6) 老年期の認知症に関する研究
- 7) 超高齢者率の検討に関する研究
- 8) 群馬県民の身長に関する研究
- 9) 自殺死亡率と県勢との関係に関する研究
- 10) 群馬県民の血色素量に関する研究
- 11) 群馬県民の血清総コレステロールに関する研究 ～近年の動向～

4. 脊椎、脊髄病変の原因と治療に関する研究

- 1) 高度頸椎前角障害を合併した圧迫性頸髄症における手術法に関する研究
- 2) 頸椎症性筋萎縮症の診断と治療に関する研究
- 3) 頸椎後方除圧後に生じる一過性上肢麻痺の原因と対策
- 4) 上位頸椎病変の神経症候学、臨床的高位診断学の確立に関する研究
- 5) 上位頸椎不安定性病変に対する確実な後方固定術の開発
- 6) 破壊性頸椎病変を持つ重度慢性関節リウマチ例における、体幹支持性再獲得のための後頭骨胸椎間固定術の開発
- 7) 後頭骨胸椎間固定術に使用するspinal instrumentationの開発

- 8) 頰椎、腰椎、双方に狭窄因子をもつ高齢者歩行障害例の外科的治療手順に関する研究
- 9) 骨粗鬆症に起因する重度脊柱後彎に対する矯正固定術の開発
- 10) 麻痺性脊柱変形例における座位バランスの獲得と変形矯正に関する研究
- 11) 高齢者の無腐性骨壊死による下肢麻痺の外科的治療法の研究
- 12) spinal instrumentation手術における術中、術後合併症回避のための臨床的研究
- 13) 脊椎手術中の脊髄機能モニタリングに関する電気生理学的研究
- 14) 骨傷の明らかでない頰髄損傷例に対する手術的治療の是非に関する研究
- 15) 重労働者腰椎椎間板障害に対する手術治療における早期離床、退院、職場復帰確立のための臨床的研究
- 16) 上位胸椎の生理学的動域のX線学的検討
- 17) 脊椎疾患患者の長期フォローアップにおけるコンピュータ活用法の検討

5. 慢性関節リウマチ治療に関する研究

- 1) 重度慢性関節リウマチ患者の呼吸障害、嚥下困難の原因究明と治療法の研究
- 2) 寝たきり重度慢性関節リウマチ患者の受療状況の実態解明
- 3) 急速破壊性頰椎病変によって死に至る重度慢性関節リウマチ患者の救命手段についての研究
- 4) 座位のみ可能なリウマチ患者における、排便動作自立のための足関節固定術の検討
- 5) 外来通院リウマチ患者の薬物療法の副作用チェックと有効な患者指導法の研究

6. 骨粗鬆症の臨床的研究

- 1) 脳卒中患者と健常者との比較及び患側と健側の骨密度の比較研究
- 2) 人工物挿入部（荷重部）の骨密度の変化研究
- 3) 移植骨部の骨密度の変化研究
- 4) リハビリにおける脳卒中患者の骨密度の研究
- 5) ギプスなど固定をした場合の骨密度の変化研究

7. 変形性膝関節症に関する臨床的研究

- 1) 人工膝関節置換術に関する研究
- 2) 大腿四頭筋筋力強化による荷重関節部の臨床変化の研究
- 3) 側方動揺及び内反変形防止の装具開発

8. 老人スポーツに関する臨床的研究

- 1) ゲートボールにおける腰痛に関する研究
- 2) 高齢者のゴルフにおける臨床的研究

9. 認知症に関する臨床的研究

- 1) 認知症治療についての研究
- 2) 認知症の発症予防に関する研究
- 3) 認知症のバイオマーカーに関する研究
- 4) 高次機能障害の治療に関する研究

10. 神経難病の治療に関する研究

- 1) 筋萎縮性側索硬化症の治療に関する研究
- 2) パーキンソン病の治療に関する研究
- 3) 多発性硬化症の治療に関する研究

11. 研究成果の発表の事業（学会発表等）

1) 第6回群馬県薬学大会

令和5年5月14日（高崎）

骨粗鬆症リエゾンチームにおける薬剤師の役割

橋場弘武

老年病研究所附属病院薬剤部

2) 第31回群馬NST研究会

令和5年5月20日（前橋）

群馬県内医療機関における末梢静脈内投与用アミノ酸・糖・電解質・水溶性ビタミン液（エネフリード[®]）の使用状況と安全性を評価する多施設共同後ろ向き観察研究

関口 匠^{1,2)}、長沼 篤^{2,3)}、堤 裕史⁴⁾、小林克巳⁵⁾、橋場弘武⁶⁾、山岡和幸⁷⁾

岡田克之⁸⁾、内田信之⁹⁾

国立病院機構高崎総合医療センター薬剤部¹⁾、NST²⁾、消化器内科³⁾、

公立館林厚生病院外科⁴⁾、利根中央病院外科⁵⁾、老年病研究所附属病院薬剤部⁶⁾

前橋北病院薬剤部⁷⁾、桐生厚生総合病院皮膚科⁸⁾、原町赤十字病院外科⁹⁾

3) 第69回北関東頭頸部血管内手術懇話会

令和5年5月27日(前橋)

(1) Dural AVFに対するtransvenous Onyx embolizationの経験

宮本直子、高玉 真、岩井丈幸、内藤 功、谷崎義生

老年病研究所附属病院脳神経外科

(2) Anterior condylar confluence dural AVFに対してprevertebral vein approachで経静脈的塞栓術を施行した一例

板橋悠太郎¹⁾、宮本直子²⁾、高玉 真²⁾、岩井丈幸²⁾、谷崎義生²⁾、内藤 功²⁾

渋川医療センター脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

4) 第64回日本神経学会学術大会

令和5年5月31日～6月3日(千葉)

(1) 当院で経験した抗MOG抗体陽性皮質性脳炎患者2例の臨床的検討

石澤邦彦¹⁾、岩崎 理¹⁾、岡 大典¹⁾、菅原 隆¹⁾、甘利雅邦¹⁾、瓦林 毅¹⁾

岡本幸市¹⁾、金子仁彦²⁾、高橋利幸³⁾、池田佳生⁴⁾、高玉真光¹⁾、東海林幹夫¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科¹⁾

東北大学医学部附属病院脳神経内科²⁾

国立病院機構米沢病院脳神経内科³⁾

群馬大学医学部附属病院脳神経内科⁴⁾

(2) アルツハイマー病の臨床病型における脳微小出血と脳脊髄液マーカーの解析

池田将樹¹⁾、牧岡幸樹²⁾、笠原浩生²⁾、長嶋和明²⁾、甘利雅邦³⁾、岡本幸市³⁾、

高玉真光³⁾、藤田行雄²⁾、池田佳生²⁾

埼玉医科大学保健医療学部共通教育部門(脳神経内科)¹⁾

群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学²⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科³⁾

(3) 特異な造影効果を伴う白質脳症を呈した自己免疫性GFAPアストロサイトパチーノ

54歳女性

岡 大典¹⁾、菅原 隆¹⁾、石澤邦彦¹⁾、甘利雅邦¹⁾、瓦林 毅¹⁾、岡本幸市¹⁾

高玉真光¹⁾、木村暁夫⁴⁾、下畑享良⁴⁾、中田 聡²⁾、好本裕平²⁾、山崎文字³⁾

横尾英明³⁾、東海林幹夫¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科¹⁾

群馬大学医学部附属病院脳神経外科²⁾

群馬大学医学部附属病院病態病理学³⁾

岐阜大学医学系研究科脳神経内科学分野⁴⁾

- (4) Association between the complement system and disruption of the blood brain barrier in MSA. (多系統萎縮症において補体系と脳血関門との間における関連)

Shibata M¹⁾, Nakamura T¹⁾, Kasahara H¹⁾, Makioka K¹⁾, Yamazaki T²⁾

Okamoto K³⁾, Takatama M³⁾, Ikeda Y¹⁾

群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学¹⁾

群馬大学保健学科²⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科³⁾

- (5) Expression of Rubicon, an autophagy regulator and LAP protein, is increased in Alzheimer's disease. (自己食食を制御するLAPタンパクであるRubiconの発現はアルツハイマー病では増加している)

Makioka K¹⁾, Yamazaki T²⁾, Takatama M³⁾, Okamoto K³⁾, IKeda Y¹⁾

群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学¹⁾

群馬大学保健学科²⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科³⁾

- (6) 脳円蓋部くも膜下出血 (convexity SAH) を伴うアルツハイマー病患者の検討
瓦林 毅, 甘利雅邦, 菅原 隆, 石澤邦彦, 岡 大典, 高玉真光, 東海林幹夫
老年病研究所附属病院・認知症研究センター

- (7) 血漿中ApoE4は, ApoE2およびApoE3より低値である (E2>E3>E4)

中村琢洋¹⁾, 瓦林 毅²⁾, 柴田 真¹⁾, 笠原浩生¹⁾, 牧岡幸樹¹⁾, 池田佳生¹⁾

東海林幹夫²⁾

群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学¹⁾

老年病研究所認知症研究センター²⁾

- 5) 第9回欧州神経学会 (EAN) 令和5年7月1日~4日 (ブダペスト)

A comparison of cerebral amyloid angiopathy in the cerebellum and CAA-positive occipital lobe of 60 brains from routine autopsies. (通常60剖検例での後頭葉と小脳での脳アミロイド血管症の比較)

Koichi Okamoto¹⁾, Masakuni Amari¹⁾, Masaki Ikeda^{1,4)}, Toshio Fukuda²⁾

Keiji Suzuki²⁾ and Masamitsu Takatama³⁾

¹⁾Department of Neurology, ²⁾Department of Pathology, ³⁾Department of Internal Medicine, Geriatrics Research Institute and Hospital, Maebashi, Gunma, Japan,

and ⁴⁾Division of General Education(Neurology), Faculty of Health and Medical Care, Saitama Medical University, Hidaka, Saitama, Japan

6) 第24回日本脳神経血管内治療学会関東地方会

令和5年7月22日(東京)

(1) 私の成功体験

宮本直子

老年病研究所附属病院脳神経外科

(2) Anterior condylar confluence dAVFに対してprevertebral vein経由でTVEを行った一例

板橋悠太郎¹⁾、宮本直子²⁾、高玉 真²⁾、岩井丈幸²⁾、谷崎義生²⁾、内藤 功²⁾

渋川医療センター脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

(3) ラピットレスポンスシステム導入に向けたコアナースの不安要素の明確化

田中智大、岸 悠、今井和美、吉田 哲、金子奈緒美、長岡将司、関根真奈美

老年病研究所附属病院看護部

7) AAIC2023 ALZHEIMER'S ASSOCIATION INTERNATIONAL CONFERENCE

(アルツハイマー協会国際カンファレンス)

令和5年7月31日～8月4日(アムステルダム、WEB参加)

Age-related cognitive decline and prevalence of MCI in the Iwaki Health Promotion Project

(岩木健康促進プロジェクトにおける加齢性認知機能低下とMCIの頻度)

Takeshi Kawarabayashi¹⁾, Naoko Nakahata⁴⁾, Takumi Nakamura³⁾

Masamitsu Takatama²⁾, Mikio Shoji¹⁾

老年病研究所認知症研究センター¹⁾, 同附属病院内科²⁾

群馬大学大学院脳神経内科学³⁾

弘前大学医学部社会医学⁴⁾

8) 第14回日本脳血管・認知症学会

令和5年8月5日(東京)

非外傷性脳円蓋部くも膜下出血患者の検討

瓦林 毅³⁾、甘利雅邦¹⁾、菅原 隆¹⁾、石澤邦彦¹⁾、橋本健太郎¹⁾、高玉真光²⁾

東海林幹夫³⁾、中村琢洋⁴⁾、笠原浩生⁴⁾、牧岡幸樹⁴⁾、池田佳生⁴⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科¹⁾, 同内科²⁾

- 老年病研究所認知症研究センター³⁾
群馬大学大学院脳神経内科⁴⁾
- 9) 第104回群馬脳神経外科懇話会
令和5年8月5日(高崎)
多発dAVFに対し、Onyx TVEを併用して治療した1例
石井希和¹⁾、橋場康弘¹⁾、曲澤 聡¹⁾、宮本直子²⁾、内藤 功²⁾
桐生厚生総合病院脳神経外科¹⁾
老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾
- 10) ALICE Tokyo2023
令和5年9月17日(横浜)
Case1 ICA giant AN
宮本直子、内藤 功
老年病研究所附属病院脳神経外科
- 11) 第29回群馬県救急医療懇談会
令和5年9月17日(前橋)
群馬県MC協議会の活動強化による脳卒中救急医療体制整備の取り組み
谷崎義生^{1,6,7)}、松本正弘^{2,6,7)}、中村光伸^{3,6,7)}、宮本直子¹⁾、甘利雅邦⁴⁾、高玉真光⁵⁾
老年病研究所附属病院脳神経外科¹⁾
公立館林厚生病院脳神経外科²⁾
前橋赤十字病院高度救命救急センター救急科・集中治療科³⁾
老年病研究所附属病院脳神経内科⁴⁾
老年病研究所附属病院内科⁵⁾
群馬県メデイカルコントロール協議会検証医⁶⁾
群馬県脳卒中救急ネットワーク⁷⁾
- 12) 第92回日本法医学会学術関東地方会
令和5年10月14日(川崎)
通所介護事業所における高齢者の身体的虐待の外傷所見と関連機関との連携についての調査研究
戸谷麻衣子^{1,3)}、峰岸沙希¹⁾、宇都野 創¹⁾、太田 隼¹⁾、並木修司¹⁾、壽美 望¹⁾
斉藤久子¹⁾、鵜沼香奈²⁾、上村公一²⁾、櫻田宏一¹⁾
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科法歯学分野¹⁾
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科法医学分野²⁾

老年病研究所附属病院³⁾

13) 第42回関東甲信越ブロック理学療法学会

令和5年10月14日～15日（さいたま）

- (1) 回復期脳卒中片麻痺患者における拡散テンソル画像を用いた皮質脊髄路の健全性と麻痺側下肢筋力の関連性

小山田知弘

老年病研究所附属病院リハビリテーション部

- (2) 歩行中のスマートフォンの利用が障害物の跨ぎ方に与える影響と注意機能との関係

吉澤里菜

老年病研究所附属病院リハビリテーション部

- (3) 脊椎圧迫骨折、大腿骨近位部骨折、脳卒中患者におけるThe modified Gait Efficacy Scaleの尺度特性の検討について

齋藤拓之

老年病研究所附属病院リハビリテーション部

- (4) 回復期病棟から自宅に退院した患者の3ヶ月後の生活空間に関連する要因の検討
－歩行能力別での検討－

小林将生

老年病研究所附属病院リハビリテーション部

14) 創立25周年記念日本認知症グループホーム全国大会東京大会2023

令和5年10月21日～22日（東京）

逆隔離で個人の時間を大切に

～コロナ感染対策をしながら安心して過ごせる個別ケアを～

上原芳美

老年病研究所

グループホームひまわり

15) 第30回群馬県老人保健施設大会

令和5年10月28日（WEB開催）

介護ロボット導入について～自分でできる感動をもう一度～

堀越大史

群馬老人保健センター陽光苑

16) 第57回日本作業療法学会

令和5年11月10日（宜野湾）

脳血管障害者Trail Making Test遂行における知覚認知運動プロセス

井澤孝泰

老年病研究所附属病院リハビリテーション部

17) 第70回北関東頭頸部血管内手術懇話会

令和5年11月11日（前橋）

(1) 両側IPS, SOVが閉塞したcavernous sinus dural AVFの1例

宮本直子¹⁾、高玉 真¹⁾、岩井丈幸¹⁾、内藤 功¹⁾、石井希和²⁾、橋場康弘²⁾、
曲澤 聡²⁾、常岡明加³⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科¹⁾

桐生厚生総合病院脳神経外科²⁾

群馬大学医学部附属病院脳神経外科³⁾

(2) Straight sinusへdrainageするisolated TS dural AVFの1例

荒牧圭吾¹⁾、岡野美津子¹⁾、塚田晃裕¹⁾、塚原隆司¹⁾、宮本直子²⁾、内藤 功²⁾
北信総合病院脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

18) 第34回全国介護老人保健施設大会

令和5年11月21日～22日（仙台）

(1) 介護老人保健施設利用者の歯科受診の傾向と考察

戸谷麻衣子、高玉真光、矢嶋美恵子

群馬老人保健センター陽光苑

(2) これぞ老健の強み～多職種協働が利用者を変えた～

須藤一樹

群馬老人保健センター陽光苑

(3) 認知症専門棟から在宅復帰を！ ～らいとが照らす帰り道～

海老原正人

群馬老人保健センター陽光苑

19) 第39回日本脳神経外科血管内治療学会

令和5年11月22日～25日（京都）

(1) Anterior condylar confluence dural AVFのdrainage patternとapproach routeの検討

宮本直子、高玉 真、岩井丈幸、内藤 功、谷崎義生

老年病研究所附属病院脳神経外科

- (2) 破裂AVMに対する血管内治療の有効性と合併症単一施設の11年間の後方視的検討

毛呂貴宏¹⁾、小瀧 祐¹⁾、長野拓郎¹⁾、齋藤 太¹⁾、矢尾板裕之¹⁾、内藤 功²⁾

太田記念病院脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

- (3) 両側椎骨動脈解離によるくも膜下出血に対して2期的に血管内治療を行った1例

小瀧 祐¹⁾、長野拓郎¹⁾、齋藤 太¹⁾、矢尾板裕之¹⁾、内藤 功²⁾

太田記念病院脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

- (4) CASPERによるCAS後の急性閉塞の1例

橋場康弘¹⁾、石井希和¹⁾、曲澤 聡¹⁾、内藤 功²⁾

桐生厚生総合病院脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

- (5) 中大脳動脈アテローム血栓性閉塞に対する急性期血行再建術の治療成績

清水立矢¹⁾、宮本直子²⁾、神徳亮介¹⁾、浅野紘史¹⁾、山口 玲¹⁾、藍原正憲¹⁾

登坂雅彦¹⁾、内藤 功²⁾

群馬大学医学部附属病院脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

- (6) フローダイバーター留置後破裂の機序：FD留置後破裂5例、Surgical flow alternation 後破裂1例の分析

平戸麻里奈¹⁾、寺田友昭¹⁾、山家弘雄¹⁾、藤島祐丈¹⁾、水谷 徹²⁾、津本智幸³⁾

杉山達也²⁾、宮本直子⁴⁾、内藤 功⁴⁾

昭和大学横浜北部病院脳神経外科¹⁾

昭和大学病院脳神経外科²⁾

昭和大学藤が丘病院脳神経外科³⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科⁴⁾

- (7) ～CPSS・EVLOスクリーンの共通言語化にむけて～

吉田 哲、岸 悠、金子奈緒美

老年病研究所附属病院看護部

- 20) 第42回日本認知症学会学術集会

令和5年11月24日～26日（奈良）

- (1) 当院で経験した神経核内封入体病の臨床的・遺伝学的解析と封入体の組織学的解析

古田みのり¹⁾、笠原浩生¹⁾、平柳公利¹⁾、藤田行雄¹⁾、高井恵理子¹⁾、相原優子²⁾
岡本幸市³⁾、池田佳生¹⁾

群馬大学医学部附属病院脳神経内科¹⁾

篠塚病院神経内科²⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科³⁾

(2) 脳円蓋部くも膜下出血の検討

瓦林 毅³⁾、甘利雅邦¹⁾、菅原 隆¹⁾、石澤邦彦¹⁾、橋本健太郎¹⁾、中村琢洋⁴⁾
笠原浩生⁴⁾、牧岡幸樹⁴⁾、池田佳生⁴⁾、高玉真光²⁾、東海林幹夫³⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科¹⁾、同内科²⁾

老年病研究所認知症研究センター³⁾

群馬大学医学部神経内科⁴⁾

21) 令和5年度秋季群馬県医学会

令和5年11月25日（前橋）

(1) もの盗られ妄想のある独居女性の在宅生活継続に向けた認知症初期集中支援

〔前橋市認知症初期集中支援チーム〕

黒沢一美¹⁾、山口智晴²⁾、高玉真光³⁾、山口晴保

訪問看護ステーション結の樹¹⁾

群馬医療福祉大学²⁾

老年病研究所附属病院³⁾

(2) 急速に両下肢麻痺が悪化し、歩行困難・膀胱直腸障害を生じた胸椎黄色靭帯骨化症
に胸椎後縦靭帯骨化症を合併した1例

島田晴彦¹⁾、館野勝彦¹⁾、加藤良衛¹⁾、正木 博¹⁾、佐藤圭司¹⁾、高玉真光²⁾

老年病研究所附属病院整形外科¹⁾、同内科²⁾

(3) 非外傷性円蓋部くも膜下出血の検討

瓦林 毅¹⁾、東海林幹夫¹⁾、甘利雅邦²⁾、菅原 隆²⁾、石澤邦彦²⁾、橋本健太郎²⁾
高玉真光³⁾

老年病研究所認知症研究センター¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科²⁾、同内科³⁾

(4) 5FU・サナクターゼ配合錠投与中、SARS COVID-2ワクチン接種し、1型糖尿病を
発症したが、その後回復した2型糖尿病の一例

中村保子¹⁾、高玉真光²⁾

老年病研究所附属病院糖尿病科¹⁾、同内科²⁾

- (5) 静脈血栓症治療中に生じたコロナ感染症
天野晶夫¹⁾、高玉真光²⁾
老年病研究所附属病院循環器内科¹⁾、同内科²⁾
- 22) 第247回日本神経学会関東・甲信越地方会
令和5年12月2日（東京）
腰椎硬膜外血種を合併したCARASILの一例
菅原 隆¹⁾、東海林幹夫¹⁾、甘利雅邦¹⁾、石澤邦彦¹⁾、橋本健太郎¹⁾、植田光晴²⁾
植田明彦²⁾、神力 悟³⁾
老年病研究所附属病院脳神経内科¹⁾
熊本大学大学院生命科学研究部脳神経内科学講座²⁾
熊本大学大学院生命科学研究部臨床部病態解析学分野³⁾
- 23) 第10回日本地域理学療法学会
令和5年12月16日～17日（多摩）
生活混乱期に対する訪問リハビリテーションの適応を環境因子から比較検討した3症例
田村祐樹
老年病研究所附属病院リハビリテーション部
- 24) 第21回神経科学研究会
令和6年1月27日（東京）
神経変性疾患のバイオマーカーのValidation研究
東海林幹夫¹⁾、瓦林 毅¹⁾、甘利雅邦¹⁾、菅原 隆¹⁾、岡 大典¹⁾、石澤邦彦¹⁾
高玉真光¹⁾、中村琢洋²⁾、池田佳生²⁾
老年病研究所附属病院神経内科¹⁾
群馬大学附属病院神経内科²⁾
- 25) 第12回脳血管内治療セミナー
令和6年1月13日（高知）
CS-dAVFのangioarchitecture～診断アンギオの重要性～
宮本直子
老年病研究所附属病院脳神経外科
- 26) 第29回日本脳神経外科救急学会
令和6年2月2日（東京）
当院における破裂動脈瘤の治療
宮本直子

老年病研究所附属病院脳神経外科

27) 第25回日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会

令和6年2月3日(東京)

- (1) 閉塞した顔面静脈経路でのNBCA塞栓術が有用であった海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻の1例

常岡明加¹⁾、宮本直子²⁾、高玉 真²⁾、内藤 功²⁾、石井希和³⁾、橋場康弘³⁾
曲澤 聡³⁾、清水立矢¹⁾

群馬大学医学部附属病院脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

桐生厚生総合病院脳神経外科³⁾

- (2) 出血を繰り返す基底核AVMに対しLSAからtarget embolizationを行った1例

石井希和¹⁾、橋場康弘¹⁾、曲澤 聡¹⁾、宮本直子²⁾、高玉 真²⁾、岩井丈幸²⁾
内藤 功²⁾

桐生厚生総合病院脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

- (3) 頭頸部領域における撮影条件設定の検討

高橋康之¹⁾、宮本直子²⁾、佐藤高章¹⁾、赤岩 優¹⁾、矢嶋正範¹⁾、飯塚裕也¹⁾
藤井雅典¹⁾、高橋清彦¹⁾、高玉 真²⁾、内藤 功²⁾

老年病研究所附属病院画像診断部¹⁾、同脳神経外科²⁾

28) Frank and Open discussion 2024

令和6年2月4日(東京)

NBCAがICAにmigrationしたtentorial dAVFの1例

宮本直子¹⁾、高玉 真¹⁾、内藤 功¹⁾、小南修司²⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科¹⁾

千葉北総病院脳神経外科²⁾

29) 第38回白馬脳神経外科セミナー

令和6年2月8日～2月10日(北海道留寿都村)

経静脈的塞栓術を行ったTentorial dural AVFの1例

宮本直子¹⁾、高玉 真¹⁾、内藤 功¹⁾、石井希和²⁾、寺田友昭³⁾、山家弘雄³⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科¹⁾

桐生厚生総合病院脳神経外科²⁾

昭和大学横浜北部病院脳神経外科³⁾

30) Stroke2024

令和6年3月7日～9日（横浜）

- (1) アテローム血栓性頭蓋内主幹動脈閉塞または狭窄症に対する急性期血行再建術における血栓性合併症

宮本直子、高玉 真、岩井丈幸、谷崎義生、内藤 功

老年病研究所附属病院脳神経外科

- (2) 特発性頸部内頸動脈解離の解離部についての検討

藍原正憲¹⁾、島内寛也¹⁾、神徳亮介¹⁾、山口 玲¹⁾、宮本直子²⁾、清水立矢¹⁾

内藤 功²⁾、登坂雅彦¹⁾

群馬大学医学部附属病院脳神経外科¹⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科²⁾

- (3) 群馬循環器病対策推進計画に対応した救急隊人材育成と事後検証再開の取り組み

谷崎義生¹⁾、松本正弘²⁾、中村光伸³⁾、宮本直子¹⁾、甘利雅邦⁴⁾、朝倉 健⁵⁾

高玉真光⁶⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科¹⁾

館林厚生病院脳神経外科²⁾

前橋赤十字病院高度救命救急センター救急科・集中治療科³⁾

老年病研究所附属病院脳神経内科⁴⁾

前橋赤十字病院脳神経外科⁵⁾

老年病研究所附属病院内科⁶⁾

- (4) フローダイバーター留置後破裂に機序 - FD留置後破裂5例、Surgical flow alteration 後破裂1例の分析 -

平戸麻里奈¹⁾、寺田友昭¹⁾、山家弘雄¹⁾、藤島裕丈¹⁾、水谷 徹²⁾、津本智幸³⁾

杉山達也²⁾、松田芳和²⁾、三鬼侑真⁴⁾、内藤 功⁵⁾、宮本直子⁵⁾、増尾 修⁶⁾

阪本 有¹⁾、名取郁哉¹⁾、斉藤拓哉¹⁾

昭和大学横浜北部病院脳神経外科¹⁾

昭和大学病院脳神経外科²⁾

昭和大学藤が丘病院脳神経外科³⁾

柏たなか病院脳神経外科⁴⁾

老年病研究所附属病院脳神経外科⁵⁾

横浜市立市民病院脳血管内治療科⁶⁾

- (5) 医療スタッフの脳卒中危険因子の認識の実態－脳卒中院内発症の早期発見に向けたリスク管理に向けて－
 田田垂矢香、田中智大、長岡将司、矢島歩実
 老年病研究所附属病院看護部
- (6) 急性期リハビリテーションに対するスタッフの意識調査－職種間で共通の患者目標を設定するために－
 吉田 哲、金子奈緒美、岸 悠
 老年病研究所附属病院看護部
- 31) 回復期リハビリテーション病棟協会 第43回研究大会in熊本
 令和6年3月8日～9日（熊本）
 当院における院内FIM研修についての活動報告
 田畑直人
 老年病研究所附属病院リハビリテーション部
- 32) 第17回認知症の早期発見，予防・治療研究会
 令和6年3月24日（東京）
 アルツハイマー病の治療分子としてのアミロイド
 東海林幹夫
 老年病研究所認知症研究センター

12. 研究成果の発表の事業（論文等）

- 1) Clinical, radiological and molecular analyses of neuronal intranuclear inclusion disease with polyglycine inclusions. (ポリグリシン封入体を持つ神経核内封入体症例での臨床的, 放射線学のおよび分子解析)

Minori Furuta^{a)}, Masayuki Sato^{a)}, Hiroo Kasahara^{a)}, Setsuki Tsukagoshi^{a)}
Kimitoshi Hirayanagi^{a)}, Yukio Fujita^{a)}, Eriko Takai^{a)}, Yuko Aihara^{b)}
Koichi Okamoto^{c)}, and Yoshio Ikeda^{a)}

^{a)} Department of Neurology, Gunma University Graduate School of Medicine, Maebashi, Japan.

^{b)} Department of Neurology, Shinozuka Hospital, Fujioka, Japan.

^{c)} Department of Neurology, Geriatrics Research Institute and Hospital, Maebashi, Japan.

J Neurol Sci 2023 ; 448 : 120618

- 2) Polygenic effects on the risk of Alzheimer's disease in the Japanese population. (日本人におけるアルツハイマー病リスクの多遺伝子効果)

Kikuchi M, Miyashita A, Hara N, Kasuga K, Saito Y, Murayama S, Kakita A, Akatsu H, Ozaki K, Niida S, Kuwano R, Iwatsubo T, Nakaya A, Ikeuchi T ;
Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative ; Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative.

Alzheimers Res Ther. 2024 Feb 27 ; 16(1) : 45.

- 3) Higher longitudinal brain white matter atrophy rate in aquaporin-4 IgG-positive NMOSD compared with healthy controls.

(アクアポリン 4IgG 陽性視神経脊髄炎関連疾患における健康対照に比べた高い経時的脳白質萎縮率)

Masuda H, Mori M, Hirano S, Uzawa A, Uchida T, Muto M, Ohtani R, Aoki R, Hirano Y ; Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative (J-ADNI) ;
Kuwabara S.

Sci Rep. 2023 Aug 3 ; 13(1) : 12631.

- 4) Positron emission tomography and magnetic resonance imaging methods and datasets within the Dominantly Inherited Alzheimer Network (DIAN).

(優性遺伝性アルツハイマーネットワークによるポジトロンエミッショントモグラフィとMRIによる検索方法とデータセット)

McKay NS, Gordon BA, Hornbeck RC, Dincer A, Flores S, Keefe SJ, Joseph-Mathurin N, Jack CR, Koeppe R, Millar PR, Ances BM, Chen CD, Daniels A, Hobbs DA, Jackson K, Koudelis D, Massoumzadeh P, McCullough A, Nickels ML, Rahmani F, Swisher L, Wang Q, Allegri RF, Berman SB, Brickman AM, Brooks WS, Cash DM, Chhatwal JP, Day GS, Farlow MR, la Fougère C, Fox NC, Fulham M, Ghetti B, Graff-Radford N, Ikeuchi T, Klunk W, Lee JH, Levin J, Martins R, Masters CL, McConathy J, Mori H, Noble JM, Reischl G, Rowe C, Salloway S, Sanchez-Valle R, Schofield PR, Shimada H, Shoji M, Su Y, Suzuki K, Vöglein J, Yakushev I, Cruchaga C, Hassenstab J, Karch C, McDade E, Perrin RJ, Xiong C, Morris JC, Bateman RJ, Benzinger TLS ; Dominantly Inherited Alzheimer Network.

Nat Neurosci. 2023 Aug ; 26(8) : 1449-1460.

5) Annual stability of the plasma A β 40/42 ratio and associated factors.

(血漿 A β 40/42 比と関連因子の年間変動性)

Takumi Nakamura^{1,2)}, Takeshi Kawarabayashi^{1,2,3)}, Naoko Nakahata^{2,4)}, Ken Itoh⁵⁾
Kazushige Ihara²⁾, Shigeyuki Nakaji²⁾, Yoshio Ikeda¹⁾, Masamitsu Takatama³⁾ &
Mikio shoji^{1,2,3)}

¹⁾Department of Neurology, Gunma University Graduate School of Medicine,
3-39-22 Showa-machi, Maebashi, 371-8511, Japan

²⁾Department of Social Medicine, Hirosaki University Graduate School of Medicine,
5 Zaifu-cho, Hirosaki, 037-8562, Japan

³⁾Geriatrics Research Institute and Hospital, 3-26-8 Otomo-machi, Maebashi,
371-0847, Japan

⁴⁾Department of Rehabilitation Sciences, Division of Speech-Language-Hearing
Therapy, School of Health Sciences, Hirosaki University of Health and Welfare,
Hirosaki, Aomori, 036-8102, Japan

⁵⁾Department of Stress Response Science, Hirosaki University Graduate School of
Medicine, 5 Zaifu-cho, Hirosaki, 037-8562, Japan

Ann Clin Transl Neurol. 2023 Jun ; 10(6) : 879-891.

6) Clinical Evaluation of Cerebrospinal Fluid p217tau and Neurofilament Light Chain Levels in Patients with Alzheimer's Disease or Other Neurological Diseases. (アルツハイマー病と神経疾患における脳脊髄液 p217tau と神経細線維軽鎖の臨床的評価)

Takeshi Kawarabayashi^{a,b,c)}, Takumi Nakamura^{b,c)}, Kazuya Miyashita^{d)},
Tatsuya Segawa^{d)}, Isamu Fukamachi^{d)}, Takashi Sugawara^{a)}, Hironori Oka^{a)},
Kunihiko Ishizawa^{a)}, Masakuni Amari^{a)}, Hiroo Kasahara^{b)}, Kouki Makioka^{b)},
Yoshio Ikeda^{b)}, Masamitsu Takatama^{a)} and Mikio Shoji^{a,b,c)}

^{a)} Department of Neurology, Dementia Research Center, Geriatrics Research
Institute and Hospital, Maebashi, Japan

^{b)} Department of Neurology, Gunma University Hospital, Maebashi, Japan

^{c)} Department of Social Medicine, Hirosaki University Graduate School of Medicine,
Hirosaki, Japan

^{d)} Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd, Fujioka, Japan

J Alzheimers Dis. 2023 ; 96(4) : 1623-1638.

- 7) Plasma ApoE4 Levels Are Lower than ApoE2 and ApoE3 Levels, and Not
Associated with Plasma A β 40/42 Ratio as a Biomarker of Amyloid- β Amyloidosis
in Alzheimer's Disease. (血漿 ApoE4 濃度は ApoE2 や ApoE3 より低く、アルツハイマー
病における A β アミロイドーシスのマーカーとしての血漿 A β 40/42 とは相関しない)

Takumi Nakamura^{a,e)}, Takeshi Kawarabayashi^{a,b,e)}, Tetsuya Ueda^{c)},
Sachiko Shimomura^{c)}, Masaki Hoshino^{c)}, Ken Itoh^{d)}, Kazushige Ihara^{e)},
Shigeyuki Nakaji^{e)}, Masamitsu Takatama^{b)}, Yoshio Ikeda^{a)} and Mikio Shoji^{a,b,e)}

^{a)} Department of Neurology, Gunma University Graduate School of Medicine,
Maebashi, Japan

^{b)} Department of Neurology, Geriatrics Research Institute and Hospital, Maebashi,
Japan

^{c)} Bioanalysis Department, LSI Medience Corporation, Itabashi-ku, Tokyo, Japan

^{d)} Department of Stress Response Science, Hirosaki University Graduate School of
Medicine, Hirosaki, Japan

^{e)} Department of Social Medicine, Hirosaki University School of Medicine,
Hirosaki, Japan

J Alzheimers Dis. 2023 ; 93(1) : 333-348.

- 8) Two cases of unilateral cortical fluid-attenuated inversion recovery-hyperintense
lesions in anti-myelin oligodendrocyte glycoprotein-associated encephalitis with
seizures (FLAMES) (片側大脳皮質に FLARE 画像高信号域を伴ったけいれんを伴う
MOG 抗体陽性脳炎 (FLAMES) の 2 例)

Kunihiko Ishizawa¹⁾, Osamu Iwasaki¹⁾, Hironori Oka¹⁾, Takashi Sugawara¹⁾
Masakuni Amari¹⁾, Takeshi Kawarabayashi¹⁾, Koichi Okamoto¹⁾
Kimihiko Kaneko²⁾, Toshiyuki Takahashi^{2,3)}, Yoshio Ikeda⁴⁾
Masamitsu Takatama¹⁾, Mikio Shoji¹⁾

¹⁾Department of Neurology, Geriatrics Research Institute and Hospital, Maebashi, Japan

²⁾Department of Neurology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan

³⁾Department of Neurology, National Hospital Organization Yonezawa National Hospital, Yonezawa, Japan

⁴⁾Department of Neurology, Gunma University Graduate School of Medicine, Maebashi, Japan

Clinical&Experimental Neuroimmunology. 2023 ; 14(3) : 133-137

9) 急速に両下肢麻痺および膀胱直腸障害を生じ、緊急手術を施行した腰椎椎間板ヘルニアの1例

島田晴彦¹⁾、館野勝彦¹⁾、正木 博¹⁾、柳橋淳子¹⁾、加藤良衛¹⁾、佐藤圭司¹⁾
高玉真光²⁾

老年病研究所附属病院整形外科¹⁾、同内科²⁾

群馬医学 No.118 P21-25 2023

10) バイオマーカーとしての脳脊髄液神経細線維軽鎖の意義

東海林幹夫¹⁾、瓦林 毅¹⁾、甘利雅邦²⁾、菅原 隆²⁾、岡 大典²⁾、石澤邦彦²⁾
高玉真光³⁾

老年病研究所附属病院認知症研究センター¹⁾、同脳神経内科²⁾、同内科³⁾

群馬医学 No.118 P29-30 2023 別刷

11) リピドラフトはアミロイドβ蛋白蓄積による神経障害の共通したプラットフォームである

瓦林 毅¹⁾、東海林幹夫¹⁾、甘利雅邦²⁾、菅原 隆²⁾、岩崎 理²⁾、岡 大典²⁾
高玉真光³⁾

老年病研究所附属病院認知症研究センター¹⁾、同脳神経内科²⁾、同内科³⁾

群馬医学 No.118 P31-37 2023

12) 大脳多発性皮質梗塞を示した血管内悪性リンパ腫の1剖検例

福田利夫¹⁾、鈴木慶二¹⁾、甘利雅邦²⁾、岡本幸市²⁾、高玉真光³⁾

- 老年病研究所附属病院病理診断科¹⁾、同脳神経内科²⁾、同内科³⁾
群馬医学 No.118 P39-43 2023
- 13) テリパラチド使用後に顕在化した無症候性原発性副甲状腺機能亢進症の一例
中村保子¹⁾、高玉真光¹⁾、正木 博²⁾、館野勝彦²⁾、島田晴彦²⁾、加藤良衛²⁾
柳橋淳子²⁾、佐藤圭司²⁾
老年病研究所附属病院糖尿病科¹⁾、同整形外科²⁾
群馬医学 No.118 P65-69 2023
- 14) 周期性嘔吐症の成人例
天野晶夫¹⁾、高玉真光²⁾
老年病研究所附属病院循環器内科¹⁾、同内科²⁾
群馬医学 No.118 P175-176 2023 別刷
- 15) 不安が強い高齢女性に対するかかりつけ医と認知症初期集中支援チームの連携支援
前橋市認知症初期集中支援チーム
渡邊菜保子、松本美江、山口智晴、高玉真光、山口晴保
群馬医学 No.118 P177-180 2023 別刷
- 16) 自院に直接救急搬送された脳卒中患者の事後検証による救急隊活動評価の取り組み
谷崎義生^{1,4)}、宮本直子¹⁾、甘利雅邦²⁾、高玉 真¹⁾、岩井丈幸¹⁾、内藤 功¹⁾
菅原 隆²⁾、東海林幹夫²⁾、高玉真光³⁾
老年病研究所附属病院脳神経外科¹⁾、老年病研究所附属病院脳神経内科²⁾
老年病研究所附属病院内科³⁾
群馬県救急医療体制検討協議会検証部会検証医⁴⁾
Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care(2023) Vol.35
No.2 : 53-58
- 17) 新型コロナウイルス感染症蔓延期でも実施可能な分散研修による群馬 PSLS の開発と
トライアルコースの実施報告
谷崎義生^{1,6,7)}、松本正弘^{2,6,7)}、中村光伸^{3,6,7)}、笠原征爾⁴⁾
飯島康明⁴⁾、宮本直子¹⁾、朝倉 健^{5,7)}
¹⁾公益財団法人老年病研究所附属病院脳神経外科
²⁾公立館林厚生病院脳神経外科
³⁾前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科
⁴⁾館林地区消防組合消防本部
⁵⁾前橋赤十字病院脳神経外科

⁶⁾群馬県救急医療体制検討協議会検証部会検証医

⁷⁾群馬脳卒中救急医療ネットワーク

日臨救急医学会誌 (JJSEM) 2023 ; 26 : 480-8

18) 健康診断で内臓脂肪測定のため撮影された CT 画像を用いた健常者の大腰筋面積の測定

荻戸 剛¹⁾、牧 雄介²⁾、島村政幸²⁾、橋場弘武³⁾、狩野悦子⁴⁾、吉澤亜希子⁵⁾

佐藤圭司⁶⁾

日本骨粗鬆症学会雑誌 Vol.10 No.1 : P41-46 2024 年

老年病研究所附属病院画像診断部¹⁾、同リハビリテーション部²⁾、同薬剤部³⁾

同看護部⁴⁾、同栄養課⁵⁾、同整形外科⁶⁾

19) Predictors of life-space mobility in patients with fracture 3 months after discharge from convalescent rehabilitation

ward : a prospective longitudinal study

(回復期リハビリテーション病棟から退院した骨折患者の3ヶ月後の生活空間の予測因子)

Hiroyuki Saito

Geriatrics Reserch Institute and Hospital.

Jounal of Physical Therapy Science. 35 : 223-229, 2023

20) (公財) 老年病研究所病理部 : (令和3年1月から令和3年12月まで) 剖検例収載

日本病理剖検輯報第64輯 日本病理学会編P240

447	80歳 M	嚥下性肺炎 [神内]	アルツハイマー病・アミロイドアンギオパチー ①肺うっ血・気管支肺炎・胸膜癒着(右下葉後部) 2. 左心室肥大 3. 肝褐色萎縮 4. 腎動脈・細動脈硬化性萎縮 5. 脾萎縮(脂肪組織浸潤高度, ラ氏島硝子化中等度)
448	71歳 F	神経系の変性疾患 [神内]	ウイルス性脳脊髄膜炎 1. 心肥大・心筋梗塞(左室後壁, 中位~心尖部, 白色癒痕散在) ②. 肺水腫・肺うっ血高度, アスペルギルス症(気管支内塞栓) 3. 肝脂肪変性高度, 急性胆嚢炎 4. IgG4関連下垂体炎

13. 講演会等の開催

1) 令和5年4月3日

「画像診断部における安全管理」

高橋清彦

新入職員院内研修会

院内新館講堂

2) 令和5年4月4日

「看護部の理念、目標及び機能並びに役割について」

福田 紫

「介護老人保健施設の理念と役割及び陽光苑の概要並びに
高齢者との接し方について」

下藤初代

新入職員院内研修会

院内新館講堂

3) 令和5年4月5日

「日本の高齢者の医療と介護」

高玉真光

新入職員院内研修会

院内新館講堂

4) 令和5年4月6日

「医療安全・個人情報保護・倫理について」

長岡絵美子

新入職員院内研修会

院内新館講堂

5) 令和5年4月7日

「骨折の危険性が高い骨粗鬆症に対する最近の考え方」

佐藤圭司

旭化成ファーマ(株)社内講演会

旭化成ファーマ(株)高崎事業所

6) 令和5年4月7日

「感染管理について」

有馬照世

「病院薬剤師の業務について」

橋場弘武

新入職員院内研修会

院内新館講堂

7) 令和5年4月8日

「大人の発達障害」

高玉真光

陽光苑師(士)長等研修会

院内新館講堂

8) 令和5年4月10日

「地域医療福祉連携室・相談室の紹介」

狩野寛子

新入職員院内研修会

院内新館講堂

9) 令和5年4月12日

「病院における栄養課の役割と栄養サポートチーム (NST) について」

吉澤亜希子 伊藤未紗希

「検査課の業務内容について」

田中美智子

新入職員院内研修会

院内新館講堂

10) 令和5年4月13日

「ISO9001とは～当院の取り組みについて」

川端純司

新入職員院内研修会

院内新館講堂

11) 令和5年4月14日

「3号病棟のスタッフ構成及び病棟の特徴・疾患並びに業務の流れについて」

金井さやか

「4号病棟のスタッフ構成及び病棟の特徴・疾患並びに業務の流れについて」

関根真奈美

「5号病棟のスタッフ構成及び病棟の特徴・疾患並びに業務の流れについて」

奥土居良恵

「6号病棟のスタッフ構成及び病棟の特徴・疾患並びに業務の流れについて」

狩野悦子

「回復期病棟の特徴、入院の対象となる疾患、入院期間等について」

飯塚敦美

「外来のスタッフ構成、特徴及び1日の業務の流れについて」

石川房江

「手術室のスタッフ構成、特徴、業務の流れ及び手術件数について」

西川千代乃

新入職員院内研修会

院内新館講堂

12) 令和5年4月17日

「リハビリテーションの概念と職種等について」

平野 哲

新入職員院内研修会

院内新館講堂

13) 令和5年4月20日

「医事課の業務内容について」

猪瀬 徹

「病院、福祉施設の防災について」ビデオによる研修

新入職員院内研修会

院内新館講堂

14) 令和5年4月28日

「脳卒中の発症抑制と血圧管理～当院でのエンレストの使用経験～」

甘利雅邦

脳血管領域高血圧Web Symposium

大塚製薬(株)

- 15) 令和5年6月2日
「大腿骨近位部骨折に対する連携について」
佐藤圭司
第66回大腿骨近位部骨折・地域連携バス連携病院研究会（WEB開催）
当院新館第2会議室
- 16) 令和5年6月4日
「介護支援専門員とケアマネジャー～高齢者の暮らしを支えるなかで～」
山田圭子
日本認知症ケア学会特別講演
京都国際会館
- 17) 令和5年6月9日
「二次性脆弱性骨折予防の重要性について」
佐藤圭司
第233回老年病研究会～病診連携によるSTOP AT ONE～
（ハイブリット開催）
ホテル1-2-3前橋マーキュリー
- 18) 令和5年6月11日
「どうする骨粗鬆症リエゾンサービス」
佐藤圭司
「骨粗鬆症とフレイル 病院そして地域へ」
牧 雄介
群馬県骨粗鬆症サポーター研修会（ハイブリット開催）
群馬ロイヤルホテル
- 19) 令和5年6月13日
「嚥下障害と誤嚥性肺炎」
平野 哲
おうちでまえばし医療介護塾
前橋市医師会
日吉町ふれあい生き生きサロン
- 20) 令和5年6月30日
「ホットラインの開始」
宮本直子
第2回脳卒中救急症例勉強会（WEB開催）
当院WEB会議室

- 21) 令和5年7月5日
「病院薬剤師の役割について」
第一三共エスファ研修会
橋場弘武
第一三共エスファ高崎営業所
- 22) 令和5年7月8日
「神経変性疾患の今と未来」
上都賀郡市医師会学術講演会（ハイブリッド開催）
上都賀郡市医師会・武田薬品㈱
甘利雅邦
ニューサンピア栃木
- 23) 令和5年7月12日～13日
「主任介護支援専門員の役割と視点」
山形県主任介護支援専門員研修会（ライブ配信）
山田圭子
山形県福祉人材センター
- 24) 令和5年7月27日
「骨折の危険性が高い骨粗鬆症に対するこれからの使い方」
帝人ヘルスケア㈱社内講演会
佐藤圭司
帝人ヘルスケア㈱北関東支店
- 25) 令和5年7月28日
「小脳テント硬膜動静脈瘻の1例」
ONYX on your side ～ONYXが味方する～
宮本直子
㈱メドトロニック・新潟
- 26) 令和5年7月30日
「医療ソーシャルワーカーの倫理・価値・役割」
群馬県医療ソーシャルワーカー協会新人研修会
狩野寛子
高崎健康福祉大学

- 27) 令和5年8月24日
「脳卒中患者に対する理学療法」
第34回群馬神経系理学療法研究会
小林将生
群馬大学
- 28) 令和5年8月31日
「脆弱性骨折に対する薬物治療戦略」
前橋市テリパラチドオンラインセミナー
佐藤圭司
群馬ロイヤルホテル
- 29) 令和5年9月6日
「難治AISについて」
第3回群馬AIS meeting
宮本直子
(株)日本ストライカー
- 30) 令和5年9月15日
「脳血管内治療・抗血栓療法のTopics～脳神経外科からの目線で～」
宮本直子
Polyvascular Conference
(株)第一三共・前橋
- 31) 令和5年9月27日
「高齢化時代のパーキンソン病診療～患者さんの健康を支える～」
甘利雅邦
Treatment of Parkinson's Disease in the 100-year life アジレクト錠5周年
WEBセミナー
武田薬品工業(株)
- 32) 令和5年9月30日
「高齢者便秘に対する当院の実例について」
金古成美 橋場弘武
群馬ファーマシーセミナー
高崎健康福祉大学

- 33) 令和5年10月7日
「非外傷性脳円蓋部くも膜下出血の検討」
第19回群馬神経内科研究会（オンライン配信）
瓦林 毅
- 34) 令和5年10月24日
「老人保健施設の機能と役割」
全老健実地研修
高玉真光
院内新館第2会議室
- 35) 令和5年10月28日
「当院での使用経験」
キャノンメディカルシステムズ血管撮影装置ユーザーセミナー
「Club Alphenix」
宮本直子
(株)キャノンメディカルシステムズ
- 36) 令和5年10月29日
「2023年度療養医療相談会」
群馬県難病団体連絡協議会
岡本幸市
群馬県社会福祉総合センター
- 37) 令和5年11月7日
「高齢者てんかんの治療～ペランバネルの使用経験～」
てんかん診療Update Seminar（WEB開催）
甘利雅邦
エーザイ(株)
- 38) 令和5年11月8日
「骨粗鬆症と神経障害性疼痛～病診連携の重要性を含めて～」
整形外科疾患連携Webセミナー
佐藤圭司
群馬ロイヤルホテル

- 39) 令和5年11月10日
「高齢者ドライバーの運転特性と脳トレ活用法」
山下拓海
おうちでまえばし医療介護塾
前橋市医師会
端気町さわやかサロン
- 40) 令和5年11月15日
「糖尿病における骨粗鬆症」
佐藤圭司
第234回老年病研究会（WEB開催）
ホテル1-2-3前橋マーキュリー
- 41) 令和5年12月1日
「PED治療の日進月歩」
宮本直子
(株)日本メドトロニック
- 42) 令和5年12月3日
「骨粗鬆症と大腿骨近位部骨折」
岡田賢幸
第9回群馬県骨粗鬆症サポーター研修会
群馬県骨粗鬆症サポーター協議会
群馬ロイヤルホテル
- 43) 令和5年12月4日
「アルツハイマー病、パーキンソン病～現状ではどのような治療が可能か？～」
甘利雅邦
Elderly Care Seminar（ハイブリッド開催）
武田薬品工業(株)
ホテル1-2-3前橋マーキュリー
- 44) 令和5年12月7日
「認知症の予防と治療法」
高玉真光
群馬県社会保険協会講演会
美喜仁桐生文化会館

- 45) 令和5年12月14日
「骨粗鬆症に対する骨形成促進剤の役割～地域連携も含めて～」
佐藤圭司
アムジェン(株)社内講演会 (WEB開催)
ホテル1-2-3前橋マーキュリー
- 46) 令和5年12月18日
「かかりつけ医の役割編」「地域・生活における実践編」
甘利雅邦
かかりつけ医認知症対応力向上研修会 (WEB開催)
前橋市医師会
- 47) 令和5年12月22日 (当院、WEB)
「脳卒中ホットラインについて」
宮本直子
脳卒中救急勉強会
前橋市消防局
院内WEB会議室
- 48) 令和6年1月3日
「感染症について聞く－まずはワクチン考えて－」
高玉真光、合田 史
上毛新聞新春対談
院内 (取材)
- 49) 令和6年1月18日
「ヴィアレブ配合持続皮下注の適正使用」
甘利雅邦
進行期パーキンソン病DAT勉強会in前橋 (ハイブリッド開催)
アッヴィ合同会社
ホテル1-2-3前橋マーキュリー
- 50) 令和6年1月25日
「高齢者てんかんにおける薬剤選択のポイント」
甘利雅邦
新規抗てんかん薬の適正使用について考える会 (WEB開催)
エーザイ(株)

- 51) 令和6年2月9日
「骨粗鬆症治療薬に対する現在の使い方」
旭化成ファーマ(株)社内講演会
佐藤圭司
旭化成ファーマ(株)高崎事業所
- 52) 令和6年2月20日
「認知症合併DM患者の治療と課題」
高齡者医療を考える会～糖尿病と認知症～(WEB開催)
甘利雅邦
興和(株)
- 53) 令和6年3月1日
「高齡者PD治療における課題と対策」
高齡者PD診療を考える会(WEB開催)
甘利雅邦
小野薬品工業(株)
- 54) 令和6年3月7日
「入院から外来までシームレスなFLSを目指して」
第15回群馬県骨粗鬆症研究会(ハイブリッド開催)
牧 雄介
群馬ロイヤルホテル
- 55) 令和6年3月7日
「骨粗鬆症リエゾンチームにおける薬剤師の役割～いい仕事してますか?～」
群馬県病院薬剤師会薬剤業務研修会
橋場弘武
桐生厚生総合病院
- 56) 令和6年3月27日
「老年病研究所の紹介と就業規則その他ルールについて」
新入職員院内研修会
川端純司
院内新館講堂

14. 病理カンファレンスの開催

1) 令和5年10月16日

第309回病理カンファレンス

参加者17名

剖検番号	年齢・性	臨床診断	示説者
451	85・F	胆嚢癌・認知症	福田利夫

2) 令和6年3月25日

第310回病理カンファレンス

参加者17名

剖検番号	年齢・性	臨床診断	示説者
452	81・M	筋萎縮性側索硬化症・膀胱癌	福田利夫

15. 医師の教育指導研修

- 1) 指導医 高玉理事長、岡本研究所長、佐藤附属病院長、鈴木名誉院長、中村名誉院長、東海林名誉院長、内藤名誉院長、岩井副院長、甘利副院長、天野副院長、島田副院長、増田副院長、館野副院長、高玉副院長
- 2) 教育指導を受けた医師10名

16. 刊行事業（累計）

- 1) 老年病——脳卒中、心筋梗塞、癌、糖尿病——の予防のための12条
公益財団法人老年病研究所
高玉真光
- 2) 脳を若がえらせる話
公益財団法人老年病研究所
高玉真光、内藤 功
- 3) 血液、血管が若返る本
公益財団法人老年病研究所長
渡辺 孝 監修（マキノ出版）
- 4) 血液をさらさらにする本
公益財団法人老年病研究所長
渡辺 孝 監修（榊主婦と生活社）
- 5) しなやかな血管をつくる本～脳卒中、狭心症、心筋梗塞を防ぐ～
公益財団法人老年病研究所長
渡辺 孝 監修（講談社）
- 6) 長生きする人 早死にする人
公益財団法人老年病研究所長
渡辺 孝 監修（榊主婦と生活社）

- 7) 痴呆症のすべて
公益財団法人老年病研究所
平井俊策 編集 (永井書店)
- 8) 新・老化学
公益財団法人老年病研究所
平井俊策 編著 (株ワールドプランニング)
- 9) 老年期認知症ナビゲーター
公益財団法人老年病研究所
平井俊策 監修 (メディカルレビュー社)
- 10) コレステロールを下げる生活読本
公益財団法人老年病研究所長
渡辺 孝 (株主婦と生活者)
- 11) コレステロール、中性脂肪を下げる特効法101
公益財団法人老年病研究所長
渡辺 孝 監修 (株主婦と生活社)
- 12) 身体的治療を受ける認知症高齢者ケアの教育プログラム開発のための基礎的研究
公益財団法人老年病研究所看護部長
下平きみ子
- 13) 老年心理学 (高齢化社会をどう生きるか)
原 千恵子・中島智子 共著 (培風館)
- 14) ドクターズガイド
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 (時事通信社)
- 15) すべてがわかるACS・運動ニューロン疾患
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 分担 (中山書店)
- 16) 神経症候群 (I)
公益財団法人老年病研究所長、同附属病院長
岡本幸市・高玉真光 分担 (日本臨牀社)
- 17) 神経症候群 (II)
公益財団法人老年病研究所長、同附属病院長
岡本幸市・高玉真光 分担 (日本臨牀社)
- 18) 神経系理学療法実践マニュアル
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎 分担 (文光堂)
- 19) アンフレッド：脳・神経リハビリテーション大事典 (翻訳版)
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎 分担 (西村書店)

- 20) 高次脳機能障害のすべて－運動維持困難 (Motor impersistence)－
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎 分担 (科学評論社)
- 21) よくわかる脳の障害とケア
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎 監修 (南江堂)
- 22) 神経内科学テキスト (改定4版)
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎 分担 (南江堂)
- 23) クリプトコッカス髄膜脳炎・神経感染症を究める
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 辻 省次ら編 (中山書房)
- 24) 前頭側頭葉変性症 (FTLD) 概論・神経症候群 (第2版)、別冊日本臨床、新領域別症候群シリーズNo.27
公益財団法人老年病研究所長、同附属病院長
岡本幸市・高玉真光 分担 (日本臨床社)
- 25) McLeod症候群・神経症候群 (第2版)、別冊日本臨床、新領域別症候群シリーズNo.27
公益財団法人老年病研究所長、同附属病院長
岡本幸市・高玉真光 分担 (日本臨床社)
- 26) こんな時のリハ処方
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎 (医歯薬出版)
- 27) 今日の診断指針 (第7版)
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 分担 (医学書院)
- 28) すべてがわかる神経難病医療
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 分担 (中山書店)
- 29) EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針－前頭側頭型認知症－ (第4版)
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 分担 (Medical View社)
- 30) 認知症の本人・家族の困りごとを解決する医療・介護連携の秘訣
－初期集中支援チームの実践20事例に学ぶ－
前橋市認知症初期集中支援チーム 山口晴保・山口智晴 編集
公益財団法人老年病研究所附属病院 チーム員 分担 (協同医書出版社)
- 31) 医学大辞典
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎 分担 (医学書院)

- 32) 演習で学ぶ脳画像－読影からリハ介入まで－
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎 監修・著（医歯薬出版）
- 33) 神経内科学テキスト（改訂第4版）
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 分担（南江堂）
- 34) 認知症疾患診療ガイドライン2017（日本神経学会 監修）
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 評価・調整委員（医学書院）
- 35) 高次脳機能障害用語事典（種村 純編集）
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎 分担（ぱーそん書房）
- 36) ナースが知りたい脳のはなし
公益財団法人老年病研究所附属病院名誉院長
酒井保治郎（学研メディカル秀潤社）
- 37) アルツハイマー型認知症 新臨床内科学（第10版）
公益財団法人老年病研究所認知症研究センター長
東海林幹夫 分担（医学書院）
- 38) アルツハイマー型認知症 1336専門家による私の治療（2019-20年度版）
公益財団法人老年病研究所認知症研究センター長
東海林幹夫 分担（日本医事新報社）
- 39) 最新ガイドラインに基づく神経疾患診療指針2021～'22
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 分担（総合医学社）
- 40) 最新ガイドラインに基づく神経疾患診療指針2023～'24
公益財団法人老年病研究所長
岡本幸市 分担（総合医学社）

Ⅱ. 老年病研究所附属病院事業

1. 令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）における診療実績は、次のとおりである。

月別診療延人数及び診療報酬請求金額

月別	区分	診 療 延 人 数		請 求 金 額
		入 院	外 来	
令和5年4月		5,673人	7,410人	404,474,088円
5		5,757	7,361	403,426,465
6		5,850	7,723	411,814,452
7		5,988	7,237	413,596,476
8		6,527	7,728	432,199,201
9		6,462	7,505	415,397,647
10		6,779	7,576	439,900,855
11		6,422	7,263	422,009,585
12		6,814	7,526	440,846,178
令和6年1月		7,161	7,071	459,142,161
2		6,800	6,841	440,228,244
3		6,533	7,497	437,953,477
合 計		76,766	88,738	5,120,988,829

2. 令和5年度における低額診療事業実績は、次のとおりである。

1) 診療費を減額した取扱患者数（延人員）	
(1) 生活保護法による医療扶助患者数	1,354人
(2) 保険診療取扱患者数	16,309人
合 計	17,663人
2) 減免した診療費等の合計金額	27,580,220円

3. 令和5年度における特殊外来教室及び糖尿病患者等食事指導教室

新型コロナウイルス感染防止の為、「食事会だより」を作成し郵送にて情報提供を行った。

1) 令和5年4月10日発送 35名

食事会だより『春野菜の栄養』

筒ご飯・たまねぎのポトフ・春野菜の塩炒め・冷や奴・フルーツ

合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 21.1g、塩分 2.1g、食物繊維 6.1g

2) 令和5年5月8日発送 35名

食事会だより『水分補給のポイント』

しらすと梅の雑炊・ささみのバター醤油ソテー・トマトと胡瓜の塩昆布和え

牛乳みかん寒天

合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 28.3g、塩分 2.5g、食物繊維 3.0g

3) 令和5年6月13日発送 35名

食事会だより『お茶を使用した食欲増進メニュー』

グリーンピースの緑茶飯・すまし汁・揚げ焼き豆腐の和風あんかけ

小松菜とエビの昆布茶炒め・オクラのゆず和え・フルーツ

合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 18.2g、塩分 1.9g、食物繊維 5.3g

4) 令和5年7月4日発送 35名

食事会だより『食事の工夫で暑い夏を乗り切ろう夏バテ対策』

ご飯・冷や汁・焼き茄子のよだれ豚・トマトの塩麴和え・紅茶とオレンジのゼリー

合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 17.7g、塩分 1.6g、食物繊維 5.1g

- 5) 令和5年8月8日発送 35名
食事会だより『麺類を食べるときのポイント』
香り中華そうめん・枝豆となめたけの卵焼き・レタスのお浸し・フルーツ
合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 30.0g、塩分 2.4g、食物繊維 5.3g
- 6) 令和5年9月5日発送 35名
食事会だより『食事の摂り方 朝食の手間を省くポイント』
ツナマヨサンドウィッチ・生姜トマトスープ・キャベツのサラダ
フルーツヨーグルト
合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 20.5g、塩分 2.0g、食物繊維 6.3g
- 7) 令和5年10月11日発送 35名
食事会だより『腸内環境を整えて体調管理』
いか納豆丼・キムチ入り味噌汁・彩りきんぴら・はちみつりんごヨーグルト
合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 18.6g、塩分 2.6g、食物繊維 5.7g
- 8) 令和5年11月13日発送 35名
食事会だより『減塩をしながらおいしく鍋料理を食べるポイント』
ご飯・豆乳味噌鍋・春菊のナムル・フルーツ
合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 25.7g、塩分 2.8g、食物繊維 6.3g
- 9) 令和5年12月8日発送 35名
食事会だより『高カロリーになりがちな冬料理をヘルシーに楽しむコツ』
ご飯・カレースープ・揚げない豚ミルフィーユカツ・水菜のサラダ
豆乳プリン
合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 23.4g、塩分 2.2g、食物繊維 3.9g
- 10) 令和6年1月9日発送 35名
食事会だより『体を温める料理と免疫力をアップさせる料理』
生姜たっぷり中華風ご飯・香味スープ・小松菜と豆腐の旨煮
南瓜とブロッコリーのホットサラダ・焼きりんご
合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 14.2g、塩分 2.2g、食物繊維 3.9g

11) 令和6年2月1日発送 35名

食事会だより『節分におすすめ 食物繊維たっぷりレシピ』

麦飯豆ご飯・ねばねば汁・鰯の生姜煮・きのこにんにくソテー

バナナヨーグルト

合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 23.0g、塩分 2.3g、食物繊維 8.9g

12) 令和6年3月7日発送 35名

食事会だより『抗酸化作用をもつ食べ物の紹介』

カレーピラフ・トマトスープ・鮭のマスタードソテー・アーモンドサラダ

フルーツ

合計単位 5.1単位、熱量 408kcal、蛋白質 22.1g、塩分 2.4g、食物繊維 4.7g

Ⅲ. 老年病研究所

附属高玉診療所事業

1. 令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）における診療実績は、次のとおりである。

月別診療延人員及び診療報酬請求金額

月別	区分	外来延人数	往診人数	請求金額
令和5年4月		68人	268人	6,054,944円
5		55	271	5,531,194
6		63	272	5,954,709
7		55	274	5,999,530
8		72	275	6,407,845
9		65	268	6,039,839
10		89	270	6,746,095
11		75	264	5,790,104
12		72	270	6,726,595
令和6年1月		100	250	5,676,798
2		59	262	5,680,789
3		74	263	5,689,055
合計		847	3,207	72,297,497

2. 令和5年度における低額診療事業実績は、次のとおりである。

1) 診療費を減額した取扱患者数（延人員）

(1) 生活保護法による医療扶助患者数 68人

(2) 保険診療取扱患者数 488人

合計 556人

2) 減免した診療費等の合計金額 732,060円

IV. 介護老人保健施設

群馬老人保健センター陽光苑事業

令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）における入所、通所者の実績は、次のとおりである。

月別入所・通所延人員及び介護報酬等収入金額

月別	区分	入所・通所者延人員		収 入 金 額
		入 所 者	通 所 者	
令和5年4月		2,923人	1,287人	60,206,150円
5		2,988	1,336	61,508,395
6		2,913	1,326	58,422,829
7		2,992	1,285	58,014,417
8		2,958	1,307	60,744,237
9		2,803	1,287	57,116,899
10		2,977	1,342	59,525,654
11		2,843	1,224	54,926,623
12		2,902	1,191	60,855,124
令和6年1月		2,903	1,139	56,730,639
2		2,682	1,122	53,145,897
3		2,937	1,051	53,986,492
合 計		34,821	14,897	695,183,356

※通所者の延人員には訪問リハビリの利用延人員が含まれている。

V. 訪問看護ステーション

ひまわり事業

- 1 令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）の訪問看護療養費（医療）における事業実績は、次のとおりである。

月別訪問看護回数及び療養費請求金額

月別	区分	訪問看護件数	訪問看護回数	療養費請求金額
令和5年4月		14件	149回	1,291,560円
	5	16	152	1,507,740
	6	15	158	1,502,050
	7	12	124	1,068,130
	8	13	145	1,302,970
	9	13	125	1,156,070
	10	13	145	1,308,570
	11	14	133	1,253,960
	12	17	158	1,444,480
令和6年1月		13	134	1,218,320
	2	15	125	1,117,650
	3	15	133	1,180,850
合 計		170	1,681	15,352,350

- 2 令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）の訪問介護給付費（介護）における事業実績は、次のとおりである。

月別訪問看護回数及び療養費請求金額

月別	区分	訪問看護件数	訪問看護回数	療養費請求金額
令和5年4月		54件	252回	2,257,365円
	5	51	239	2,079,321
	6	47	244	2,128,231
	7	47	235	2,109,175
	8	48	264	2,237,168
	9	51	220	2,133,157
	10	46	215	1,906,927
	11	43	183	1,638,416
	12	46	181	1,755,342
令和6年1月		43	188	1,755,546
	2	44	193	1,815,490
	3	47	190	1,857,030
合 計		567	2,604	23,673,168

VI. 前橋市地域包括支援センター

西部事業

この事業は前橋市の委託事業として平成21年4月1日開始、令和5年度の事業実績は、次のとおりである。

(1) 介護予防支援費

月別	区分	西部件数	西部請求額	委託先件数	委託先請求額	総件数	総請求額
令和5年4月		73件	329,446円	130件	608,797円	203件	938,243円
	5	69	308,499	132	605,487	201	913,986
	6	65	290,615	129	601,263	194	891,878
	7	63	284,736	130	593,482	193	878,218
	8	63	281,673	125	571,127	188	852,800
	9	70	312,970	120	542,646	190	855,616
	10	68	307,091	124	533,037	192	904,377
	11	66	298,149	131	559,863	197	920,606
	12	68	310,154	133	535,359	201	920,112
令和6年1月		66	298,149	131	541,485	197	902,228
	2	74	336,980	131	535,359	205	934,933
	3	75	341,451	129	601,263	204	942,714
合 計		820	3,699,913	1,545	6,829,168	2,365	10,855,711

(2) 介護予防マネジメント費

月別	区分	西部件数	西部請求額	委託先件数	委託先請求額	総件数	総請求額
令和5年4月		68件	303,846円	91件	440,155円	159件	744,001円
	5	67	305,683	92	429,710	159	735,393
	6	68	304,028	88	411,826	156	715,854
	7	65	296,741	87	404,292	152	701,033
	8	73	350,887	86	402,884	159	753,771
	9	77	350,393	90	426,894	167	777,287
	10	73	335,572	82	366,622	155	702,194
	11	70	316,033	85	404,539	155	720,572
	12	74	340,043	79	383,839	153	723,882
令和6年1月		68	307,091	83	392,534	159	699,625
	2	71	329,693	88	424,078	159	753,771
	3	69	311,562	86	415,136	155	726,698
合 計		843	3,851,572	1,037	4,902,509	1,888	8,754,081

(3) 相談件数（電話・来所・訪問等）

(件)

月別	区分	相談 件数計	介護相談	介護保険 サービス	新総合 事業	保健福祉 サービス	ケアマネ ジメント	権利擁護	その他
令和5年4月		160	17	130	0	0	4	6	3
	5	172	25	124	2	0	6	9	6
	6	181	41	118	4	2	8	2	6
	7	188	48	120	4	2	6	0	8
	8	170	48	104	5	0	2	6	5
	9	156	44	95	3	0	2	8	4
	10	165	39	101	4	0	3	14	4
	11	178	50	94	4	0	2	26	2
	12	201	61	96	4	2	7	29	2
令和6年1月		199	65	85	5	3	16	15	10
	2	208	70	78	6	4	24	20	6
	3	202	57	70	5	3	30	33	4
合	計	2,180	565	1,215	46	16	110	168	60

Ⅶ. 認知症初期集中支援推進事業

この事業は厚生労働省が認知症対策として平成25年8月から進めているもので、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」により、早期診断・早期対応に向けた支援を行っている。

当院では、発足当初から前橋市の委託を受けており、令和5年度の事業実績は次のとおりである。

○事業内容

- ① 普及啓発推進事業（認知症の早期診断・早期対応を市民および関係者へ啓発する）
- ② 認知症初期集中支援の実施
 - ア) 訪問支援対象者の把握
 - イ) 情報収集
 - ウ) アセスメント
 - エ) 初回家庭訪問の実施
 - オ) チーム員会議の開催（21回）
 - カ) 初期集中支援の実施
 - キ) 関係機関との連携
 - ク) 終了と終了後のモニタリング
 - ケ) 記録
 - コ) 認知症初期集中支援チーム検討委員会への出席（年1回）

○事業実績

- ① 支援件数（支援対象者数）44名
（性別：男14・女30名、年齢±標準偏差：80.1±7.8歳、
対象者世帯状況：独居16名、夫婦のみ12名、その他16名）
- ② 令和5年度末支援状況 支援継続中：16名、終了：28名（令和5年度依頼者数のみ）
- ③ 令和5年度の訪問延べ回数：80回（令和5年度に支援依頼があった者のみ）
- ④ 終了時転帰：在宅生活継続340名、入院38名、入所26名、死亡9名
（事業開始から令和5年度末までの終了者のみ）

○主治医との連携

- ① 主治医から支援チームへの直接依頼：6/44例

○事業担当職員

- ① チーム員
・サポート医2名、歯科医師1名、看護師1名、作業療法士3名、言語聴覚士1名、
精神保健福祉士1名、介護支援専門員1名
- ② 事業推進担当 地域包括支援センター西部職員1名

VIII. 居宅介護支援事業所事業

- 1 令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）の介護給付における事業実績は、次のとおりである。

月別	区分	件数	計画費請求金額
令和5年4月		269件	4,452,207円
5		267	4,409,474
6		260	4,267,112
7		247	4,048,284
8		248	4,071,950
9		242	3,973,886
10		243	4,009,383
11		231	3,823,497
12		235	3,868,349
令和6年1月		236	3,877,364
2		228	3,768,444
3		232	3,814,429
合計		2,938	48,384,379

- 2 令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）の予防介護給付における事業実績は、次のとおりである。

月別	区分	件数	計画費請求金額
令和5年4月		61件	271,318円
5		59	262,376
6		59	262,376
7		57	253,434
8		56	248,963
9		48	219,321
10		46	196,253
11		45	202,845
12		44	195,311
令和6年1月		43	190,840
2		43	209,218
3		43	192,495
合計		604	2,704,750

3 令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）の要介護認定訪問調査における事業実績は、次のとおりである。

月別	区分	件数	請求金額
	令和5年4月	13件	58,520円
	5	8	35,240
	6	8	35,640
	7	11	47,850
	8	12	54,120
	9	17	75,770
	10	15	67,540
	11	11	48,950
	12	16	73,370
	令和6年1月	16	71,720
	2	20	89,650
	3	15	67,540
	合計	162	725,910

IX. グループホーム

ひまわり事業

令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）における入居者の実績は次のとおりである。

月別入居者延人員及び介護報酬等収入金額

月別	区分	入居者延人員	収入金額
	令和5年4月	810人	11,786,946円
	5	837	11,854,908
	6	802	11,351,956
	7	837	11,840,397
	8	814	11,534,131
	9	803	11,098,737
	10	798	11,078,604
	11	749	10,573,891
	12	798	10,764,370
	令和6年1月	806	11,230,584
	2	736	9,592,255
	3	710	9,482,775
	合計	9,500	132,189,554

X. 認知症疾患医療センター事業

この事業は群馬県の委託事業として、平成22年9月から実施しているものであり、令和5年度（R5. 4. 1～6. 3. 31）における事業実績は、次のとおりである。

1 相談件数 (件人)

区別		月別												合計
		令和5年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	令和6年 1月	2	3	
電話	相談件数	139	139	172	119	171	162	182	104	138	162	125	166	1,779
	実人員	106	108	130	91	128	119	135	81	92	122	88	117	1,317
面接	相談件数	57	66	80	90	81	62	66	53	71	67	53	63	809
	実人員	48	55	60	68	63	50	56	46	58	50	44	46	644
合計	相談件数	196	205	252	209	252	224	248	157	209	229	178	229	2,588
	実人員	154	163	190	159	191	169	191	127	150	172	132	163	1,961

2 相談内容件数 (件)

区別		月別												合計
		令和5年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	令和6年 1月	2	3	
病気の相談		78	78	99	87	90	94	88	62	82	86	74	88	1,006
受診希望		92	102	115	84	117	96	123	80	86	107	80	94	1,176
介護の相談		3	4	2	8	6	2	2	2	3	2	1	8	43
病院・施設紹介		3	6	7	9	3	10	6	0	4	10	7	11	76
福祉サービスの利用		8	6	13	10	18	8	12	5	6	9	7	18	120
経済・就労の相談		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運転免許に関する相談		12	9	16	11	18	14	17	8	28	15	9	10	167
計		196	205	252	209	252	224	248	157	209	229	178	229	2,588

3 認知症疾患に係る鑑別診断件数 (件)

区別		月別												合計
		令和5年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	令和6年 1月	2	3	
鑑別診断件数		48	48	55	51	51	46	55	40	54	50	42	39	579
うちかかりつけ医からの紹介		30	32	31	37	37	29	33	29	38	36	30	23	385
検査内容	C T	1	0	2	2	1	0	2	2	5	2	3	2	22
	M R I	42	41	42	46	49	38	47	32	44	41	35	31	488
	スペクト	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他	63	57	62	57	57	55	59	40	61	59	45	48	663

XI. 従事役職員（令和6年3月31日現在）

1. 研 究 所

職 種	常 勤 ^人	非 常 勤 ^人
医 師、 研 究 員	2	1
そ の 他 の 技 術 者	1	0
事 務 員	12	-
そ の 他	-	-
計	15	1

2. 附 属 病 院

医 師	28(兼2)	28(兼2)
看 護 師	171	14
薬 剤 師	13	-
臨 床 検 査 技 師	10(兼1)	-
管 理 栄 養 士	9	-
診 療 放 射 線 技 師	12	-
理 学 療 法 士	39	-
作 業 療 法 士	35	1
言 語 聴 覚 士	12	-
臨 床 工 学 技 士	1	-
視 能 訓 練 士	2	2
歯 科 衛 生 士	3	1
司 書	1	-
看 護 助 手	28	12
そ の 他 の 医 療 従 事 者	6	2
事 務 員	41(兼12)	12
社 会 福 祉 士	8	-
そ の 他	4	-
計	423(兼15)	72(兼2)

3. 附 属 高 玉 診 療 所

医 師	1	1
看 護 師	2	-
事 務 員	1	1
計	4	2

4. 陽 光 苑

医 師	2(兼2)	4
看 護 師	16	-
介 護 福 祉 士	45	2
介 護 員	6	9
相 談 指 導 員	4	-
介 護 支 援 専 門 員	1	-
理 学 療 法 士	7	1
作 業 療 法 士	2	2
言 語 聴 覚 士	2	1
介 護 支 援 専 門 員	14(兼14)	1(兼1)
薬 剤 師	1(兼1)	-
管 理 栄 養 士	1	-
事 務 員	3	-
そ の 他	-	-
計	104(兼17)	20(兼1)

5. 訪問看護ステーションひまわり

看 護 師	4	2
計	4	2

6. 前橋市地域包括支援センター西部

社 会 福 祉 士	3	-
介 護 福 祉 士	1	-
保 健 師	1	-
看 護 師	1	-
計	6	-

7. グループホームひまわり

看 護 師	2	-
介 護 福 祉 士	12	5
介 護 員	3	1
事 務 員	1	-
計	18	6

8. ケアプランセンター老研

介 護 支 援 専 門 員	8	1
計	8	1

合 計	582(兼32)	104(兼3)
-----	----------	---------

事業報告の附属明細書

記載事項がないため、記載を省略する。